

NPO法人青空保育たけの子

青空保育たけの子代表
辺見妙子



NPO法人

青空保育たけの子

辺見妙子（旧姓遠藤）

1960年12月 福島県福島市に生まれる
病気がちの弱い子

1965年3月 父親が他界、母子家庭になる
しつけに厳しい母

「人と違ったことをしなさい、同じことをしていてもしかたがない」
「人には一番いいものを贈る」

1980年5月 キリスト教会に改宗

2002年6月 福島コダアイ合唱団に入団

2008年10月 保育士資格取得

2009年4月 青空保育たけの子創立

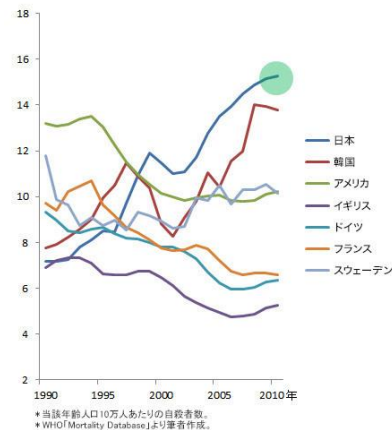
2011年10月 サテライト保育開始



●設立のきっかけ

経済的には豊かな時代になった日本だが、子どもたちが将来に夢をもてないまま大人になり、世界的にも青少年の自死が多い国であることに疑問を持った。

図1 15～24歳の自殺率の推移



子ども時代に思いっきり遊ぶことで変わるのではないかと思います、「**青空保育たけの子**」を創設し、2019年で**10周年**を迎えた。

●団体の目的

子どもも大人も共に成長し、自分で考え、自分で発言し、自分で行動できる子どもを育てることを目的としている。



私たちの思い、考え

◆地域の課題

課題(1)

子どもたちの**AKB**(あぶない・きたない・ばかばかしい)な**遊びを保障**する環境(自然・人的・社会的)が整っていない。



●目指す地域の姿

「崖の上のポニョ」の舞台になったような、子どもの居場所と大人の居場所が隣り合わせで、自然豊かな環境でお互いに刺激し合える地域。

課題(2)

原発事故そしてコロナと、子どもたちが特に**自然の中で遊ぶことが困難**になって免疫力も落ち、居場所がない。



三者

が地域を元気にする！

新しいコミュニティを創る！



よそ者



若者



バカ者

活動紹介



野外保育

震災後、要望に応じて事業拡大



森のムッレ教室



冒険遊び場



食農教室



空と土の交流広場



民泊



カフェ

民泊・カフェを除く事業は原発事故を起こした大人の責任としてすべて福島⇄米沢間無料送迎

【活動拠点の変遷】



2009年4月～2011年9月
福島市(辺見宅)



2011年10月～2015年3月
米沢市六郷町

福島の子供達を米沢市の冒険遊び場へ！送迎バスを定期運行したい



辺見妙子

成立



支援総額

909,000 円

目標金額 800,000円

支援者 募集終了日

98人 **2014年9月16日**

プロジェクトは成立しました！

シェア

ツイート

LINEで送る

noteで

♡
6

プロジェクトの相談をする





2015年4月～現在
米沢市上新田







自然の中で自由に遊ぶ！福島の子どもたちのために保養所を！



青空保育たけの子

成立



支援総額

3,047,000円 目標金額 2,000,000円

支援者

188人

募集終了日

2018年5月31日

プロジェクトは成立しました！

♡
12

終了報告を読む

シェア

ツイート

LINEで送る

noteで

プロジェクトの相談をする
>



10年目の新たな一歩！山形県で安全な食を楽しめるカフェをOPEN！



青空保育たけの子

成立



支援総額

1,619,000円 目標金額 1,500,000円

支援者

111人

募集終了日

2019年8月23日

プロジェクトは成立しました！

終了報告を読む

シェア

ツイート

LINEで送る

noteで

10

プロジェクトの相談をする





困難にどう立ち向かうか (ネガティブ要因)



NPO法人

青空保育たけの子

特集 専門家に聞く 「放射線 Q&A」

今、「放射線」に対して関心が高まっています。先日、放射線について「市政だより速報版特集号」を発行したところ、多くの質問が寄せられました。そこで今回は、寄せられた質問のうち、主なものに対するQ&Aをまとめました。また、特集号に掲載した「出産に問題はないか？」について、補足的な説明を追加しました（一部、県ホームページより引用）。

Q1 累積の影響
地域の環境放射線が、1時間当たり数マイクロシーベルトとなっている。数週間、数カ月この環境に住み続けることで、蓄積した数ミリシーベルトを超えることもあると思われるが大丈夫か？

A1
報道されている値はあくまでも屋外での空間線量です。それが屋内では一般的には5分の1くらいに減りますので、実際の被ばく線量は少

A2
放射線について国際的なガイドラインを定めた国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告によると、100ミリグレイを下回る被ばくであれば、生まれてくる赤ちゃんについて心配の必要はありません。県下に住むお母さんのおなかの中にいる赤ちゃんが、今回の原発事故で100ミリグレイを上回る被ばくをするとは考えられませんので、心配する必要

Q2 妊娠・出産
結婚したばかりだが、近い将来赤ちゃんがほしいと思っている。今の状況がとても不安だが、出産に問題はない？

監修
◎県放射線健康リスク管理アドバイザー 山下俊一 先生
医学博士、現在、長崎大学大学院薬学総合研究科長、世界保健機構WHO緊急援助医療協力研究センター長、日本申状腺学会理事長を務める。
◎県放射線健康リスク管理アドバイザー 高村 昇 先生
医学博士、現在、長崎大学大学院薬学総合研究科教授

Q5 子ども
小学生の子どもがいる。外で遊ばせても大丈夫？4月から学校が始まったが、普通に通学させるのも心配。洗濯物も外で干していい？家には24時間換気システムが付いているが、切った方がいい？

A5
1時間当たりの空間線量が10マイクロシーベルト以下であれば、外で遊ばせて大丈夫です。もちろん普段通りの通学も問題ありません（国から指針や基準が示された場合は、これによる必要はありません）。ただし、指に付いた土をよく洗わせたり、着ていた上着のホコリを払わせたりした方がよいかもしれません。洗濯物についても、取り込むときに少し丁寧にホコリを払う程度で問題ありません。布団干しも同様に大丈夫です。換気システムを切るなど神経質になる必要はありません。

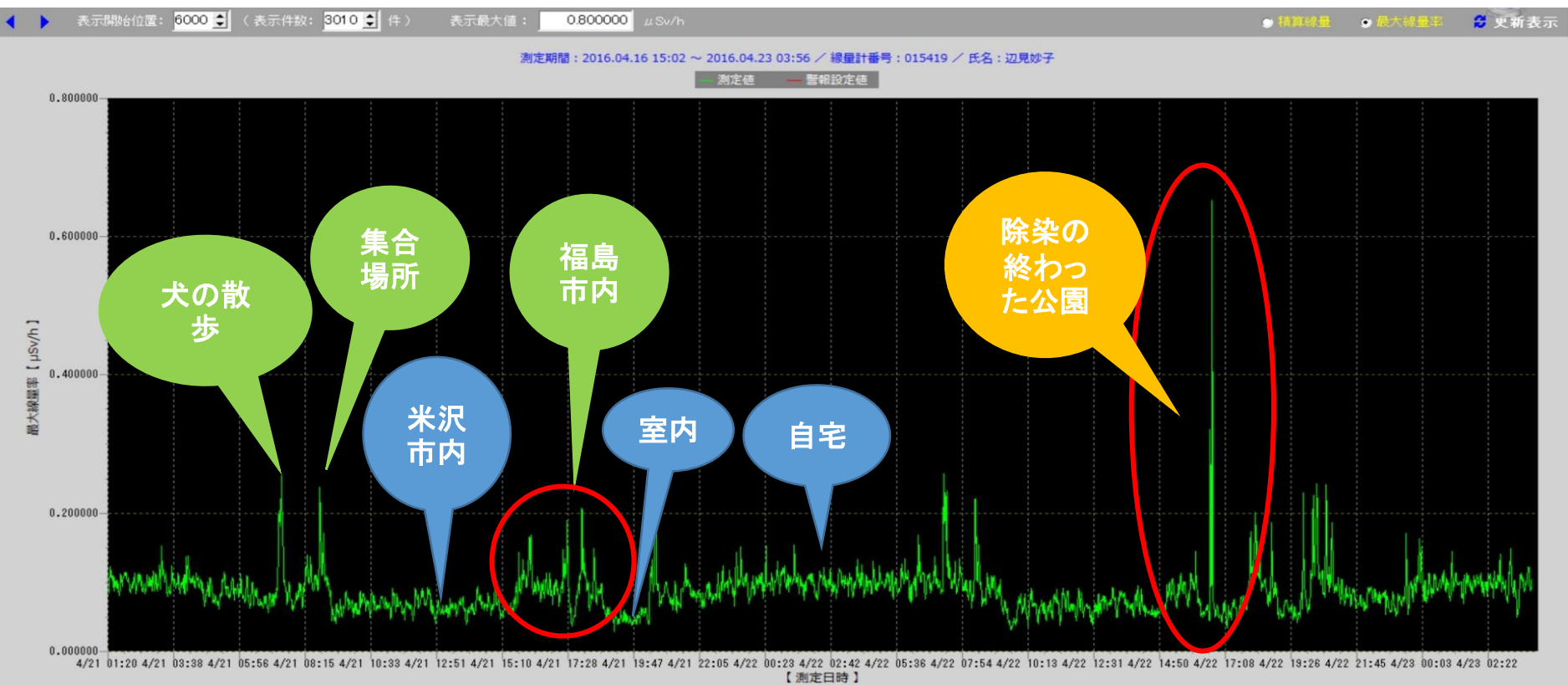
事故前の福島市の空間線量は毎時0.035〜0.046マイクロシーベルトでした。

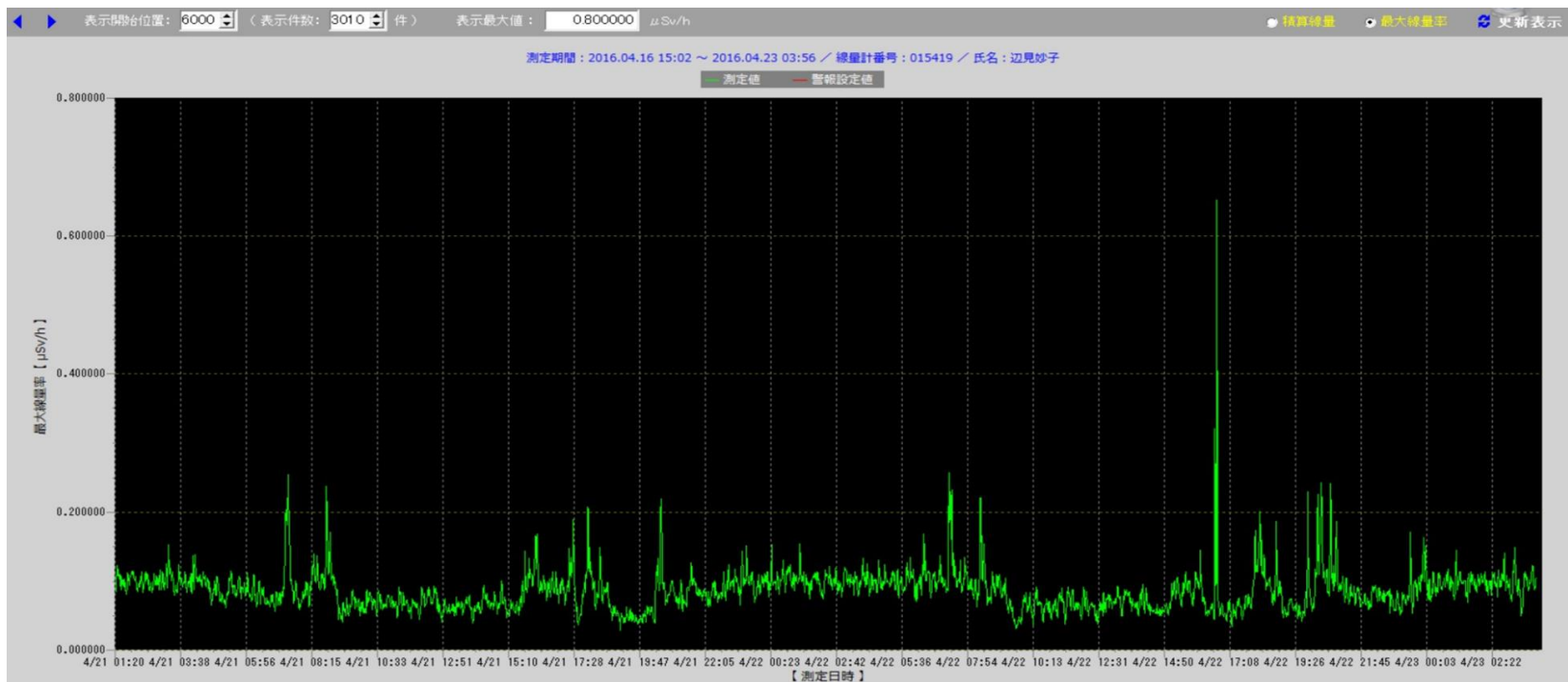


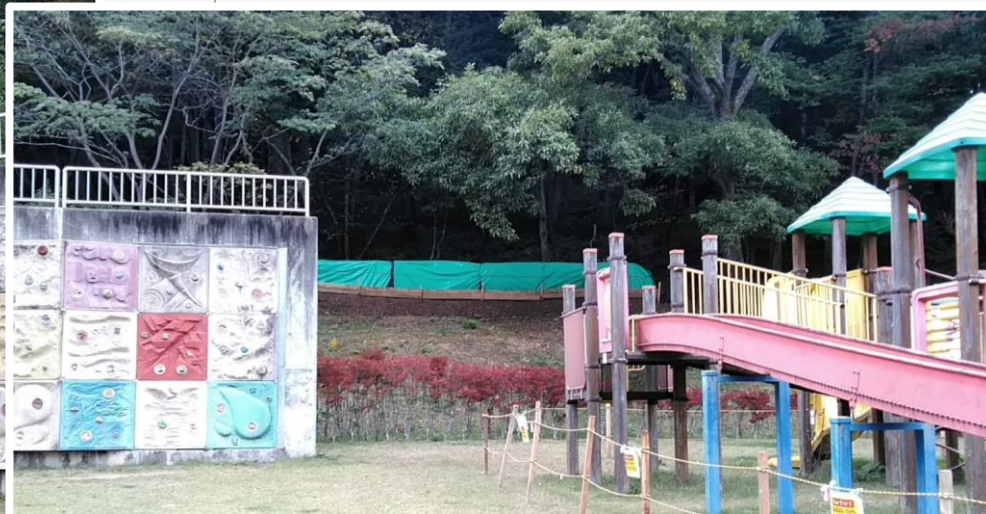
阿武隈川の河川敷やサイクリングロードは高い放射線量を示す。こうした場所を部活動や通学にも使っている。外部被曝のほか、ほこり吸引による内部被曝が心配である。



2016年4月のわたしの被曝線量







震災前のフィールドはフレコンパック置き場に・・・

福島市信夫山第二展望台

2017年10月18日撮影





福島市郷野目 事務所近くの公園

2020年9月25日撮影

家族のそれぞれの選択で子どもたちはバラバラに



2011年3月3日
ひな祭り



2011年5月

〈M君（当時5歳）のこと〉

年少時よりたけの子に入園。

震災時は年中。

震災後、春休みより母方の実家
北海道へ母子避難。

父親は福島市に残る。

5月の連休を期に福島に戻ってくる。



66まで数えて！

「66歳になったら、小鳥の森にいけると思っているようです」

2012年春、M君達は家族そろって大阪に移住した。





2016年5月
5歳女兒



NPO法人
青空保育たけの子



2016年11月
6歳女兒



NPO法人
青空保育たけの子

卒園児の保護者から

たけの子に通う前の娘はハエがうでに止まっても泣いていたのに、今ではカナチヨロのオスとメスを捕まえて卵を孵化させ、育てるくらいになりました。

息子は初め、木に登ることにすら助けを求めていましたが、「お母さん、たけの子では助けないんです。」と言われて、私には衝撃でした。考えてみたら、昔は大人が付いて遊ぶことはなく、大きい子を見て真似したり、まだできなくて悔しくなったり、憧れたりという経験ができました。たけの子ではそういった事を大切にしてくれています。



失敗の経験が大事

これからの取り組み

こども達が自分で作ることができる昔ながらの
食事づくりと一緒に⇒ 《新しいこども食堂》づくり

コロナ禍の中、雑穀中心の日本食によってこどもたちの免疫力をあげたい！



つぶつぶ未来食の給食
2020年10月からスタート！



ウンチが
変わった！！

